

第12回地域医療・介護研究会 レポート

日時：2015年10月2日（金）18：30～20：15 晴
場所：ちどりビル2F 参加者：48名

今回は千鳥橋病院のノーリフトコアチームのみなさんにより、『持ち上げない、抱え上げない看護・介護（腰痛対策：ノーリフトケア）』をテーマとした研究会でした。ノーリフトケアは労働安全衛生の取り組みですが、医療・介護活動の一環とした、患者・利用者さんの為のケアであることなど、演習を交えて学びました。



荒木さん

コアチームの荒木さんより“ノーリフトケア”についての解説、具体的な取り組み・効果について講義いただきました。

“ノーリフトケア”は、千鳥橋病院のHPH（健康増進活動拠点病院）活動の一つ、職員の健康増進活動の大きなテーマとして取り組んでいます。

職員にとっては身体的負担軽減、健康リスクの軽減、労働環境改善・働きやすい職場づくりの取り組みとして位置付けています。

患者さんにとっては、安心・安楽な移乗、本人の残存機能を活かす医療・介護活動として取り組んでいます。

この様に、ノーリフトケアは単に腰痛対策というだけでなく、患者・利用者中心のケアとして、ケアの質の向上を図り、職員の負担軽減＝腰痛対策という考えの下で取り組まれています。



演習用ベッドは介護ショップたたらさん、日本ケアサプライさんに提供して頂きました。

演習

コアチームの皆さんにより実演後、数名の方に体験していただきました。



スライディングシート（4～5千円程）の活用例



ビニール袋を両手にはめた実践例
（スライディングシートが無い場合）



引くのではなく押すのがポイント

グループワーク

在宅でのノーリフトケア実践において、どのような課題があるかなど、下記のポイントを中心にディスカッションしました。あげられた課題等についてはノーリフトコアチームが整理し、可能なものには回答したまとめを出します。1ヶ月を目安にふくおか家庭医療学センターのホームページに掲載します。

「福祉用具を使用することで良かった症例／うまく活用できなかった症例／その他共有したい悩み等」

感想レポートより

- ✓ビニール袋でスライディングシートの一部代用ができることがわかった。
- ✓スライディングシートを初めて見て体験しました。滑りが良く体交などの時は便利だと実感した。
- ✓ずり落ちた時に上に上げる時、上にはではなく斜めだと楽にできる。
- ✓仙骨部、胸部など支点にするポイントがわかった。

（次回は11/6「歯科医療」です）